

風水害対策について

大雨や強風は、わたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

まずは、
確実な情報が大事
その次に迅速な対応



大雨情報をキャッチ！ こんなときのわが家の安全対策。

南伊豆町の大雨注意報・警報の発表基準

大雨注意報

大雨によって災害が起こるおそれがあると予測される場合。

- ・表面雨量指数(注1)10
- ・土壌雨量指数(注2)16

大雨警報

大雨によって重大な災害が起こるおそれがあると予測される場合。

(浸水害)表面雨量指数80 (土砂災害)土壌雨量指数126

記録的短時間大雨情報 1時間に雨量100mm

上記に併せて、洪水注意報・洪水警報が発表されます。

雨の強さと降り方 (1時間雨量:mm)

10以上～20未満

雨の音で話し声がよく聞き取れない。

20以上～30未満

ワイパーを速くしても見づらい。側溝、小さな川があふれる。

30以上～50未満

山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。

50以上～80未満

土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。車の運転は危険。傘は全く役に立たなくなる。

80以上～

雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

風の強さと吹き方 (平均風速:m/秒)

10以上～15未満

風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。

15以上～20未満

風に向かって歩けない。転倒する人もいる。

20以上～25未満

しっかりと身体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。

25以上～

立ってられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめる。

台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速15m/秒以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上800km未満	強い	33m/秒以上44m/秒未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/秒以上54m/秒未満
		猛烈な	54m/秒以上

集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して多量の雨が降ることで、「ゲリラ豪雨」とも言われています。発生の予測は困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 非常時持出品を準備しておく。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。

つねに
気象情報には、
注意して
おきましょう！

